

こんにちは



新年度がスタートして約1ヶ月。いかがお過ごしですか？

熊本県を中心に、九州地方で大きな地震が発生しました。亡くなられた皆様に哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早く、ゆったりと落ち着いた時間を過ごせようお祈りしております。

災害はいつ発生するかわかりません。

もしもの時に、自分や家族を守ることができるよう、あらかじめ備えておくことが大切です。紙面の都合上、簡単な内容のみ掲載します。一般的な内容から、ママのためのものまで、さまざまな団体や自治体が、防災に関する情報やハンドブック等を公開しています。ネットで見ることもできますので、確認し、自分の家庭に合ったものを備えておきましょう。

日常備蓄をしよう。

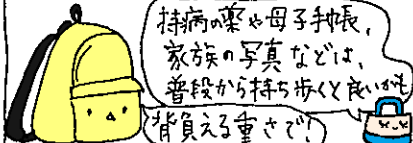
ライフラインと物流機能が止まった状態でも、自宅での避難生活を送り切れるように、食料品や生活用品を備蓄しましょう。

特別に用意するのではなく、「普段利用しているものを、少し多くめに買う」→「消費する」→「なくなる前に買い足す」という日常備蓄が簡単でオススメです。



非常持ち出し袋を用意しよう。

倒壊や焼失など自宅が被災した場合は、避難先で避難生活を送ることになります。必要最低限のものを一つめこんでリュックなどを、玄関や寝室、物置車内などに置いておきましょう。離乳食やアレルギー対応食など、避難先で手に入りにくいものを持ち出せると安心です。



子供や家族も災害から守ろう。

盛岡で起こり得る災害は、地震災害、水害、土砂災害、火山災害などです。

家族みんなで無事に乗り越えるために、「安全な自宅にする」「避難先や集合場所を確認する」「危険な場所を確認する」など、家族会議を開きましょう。

子供を災害から守り、ストレスの少ない避難生活を送るためには、保護者のみなさんの力が必要です。子供や家族を守るとともに、**自分自身** も守りましょう。

みなさんにとって、このおたよりが少しでも身近な存在になればいいなと、今年度は家庭教育情報通信に「はぐ便り」という名前をつけました。

→ 育ち

御感想や家庭教育に関するお悩み、子育ての川柳などみなさんの声をお聞かせください。次号は5/20頃発行予定です。

「はぐ」をかきました。



今日の家庭教育川柳 (略してカテセン)

春なのに 男児と格闘 汗だくり【M】

家庭教育情報通信「はぐ便り」2016年4月号(通号第33号)
平成28年4月26日発行

発行者・問い合わせ先: 盛岡市教育委員会生涯学習課
住所 〒020-8532 盛岡市津志田14-37-2

TEL 019-639-9046(直通) FAX 019-639-1516

メール edu.sgs@city.morioka.iwate.jp

●バックナンバーは市のホームページで見ることができます。